ONKYO

TWシリーズ(バッテリー内蔵タイプ)

取扱説明書

版:Windows 10 Home「October 2018 Update」用　　型番:TW08A-87Z8

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
別冊「使用上のご注意・サポートガイド」と本書をよくお読みのうえご使用ください。
また、保証書裏面の「保証規定」をよくお読みください。

重要保管

本書は必要なときすぐにご覧になれるようお手元に保管してください。

本書で使用しているマークについて

警告	死亡または重傷を負う可能性がある内容です。	注意	軽傷を負うことや財産への損害が生じる可能性がある内容です。
	操作の際注意するポイントです。		補足説明や知っておくと便利なポイントです。

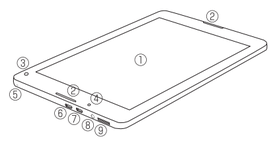
本書で使用している説明用画像等はイメージです。実際の製品と異なる場合があります。
紙面の構成上、説明用画像は縦向き画面/横向き画面が混在いたしますがご容赦願います。

1.セット内容 ― はじめにご確認下さい ―

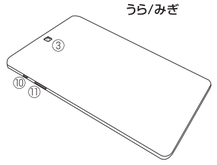
□ 本体　□ ACアダプター　□ 電源ケーブル(USB TypeAプラグ→micro-Bプラグ)
□ USBプラグ変換ケーブル(OTGケーブル: Type Aソケット → micro-Bプラグ)
□ 使用上のご注意・サポートガイド　□ 保証書　□ 取扱説明書(本書)

2.各部の名称と機能

おもて/うえ/ひだり



うら/みぎ

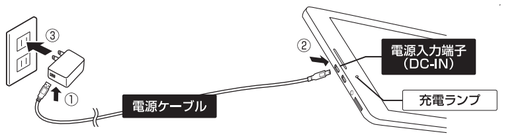


名称	補足説明
①ディスプレイ(画面)	表面にマルチタッチパネルを装備しています
②ステレオスピーカー	横向き使用の際にスピーカーレイアウトが左/右配置となります
③Webカメラ(内側/外側)	静止画や動画が撮影できるカメラレンズが表面と裏面にあります
④充電ランプ	内蔵バッテリー充電中は赤色に点灯、満充電になると消灯します
⑤内蔵モノラルマイク	小さな穴の内部にモノラルマイクを内蔵しています
⑥電源入力端子(DC-IN)兼 microUSB2.0ポート	USB機能はホストモードです。USBデバイスを接続する際は付属のUSBプラグ変換ケーブルをご利用ください。兼用端子のためUSBデバイス接続中は本機の充電をおこなうことはできません
⑦microHDMI出力端子	ご利用の際は市販のmicroHDMIケーブル(別売)をご用意ください
⑧ヘッドホン兼ヘッドセット端子	ヘッドセットの規格は「CTIA」です(単体マイクは使用できません)
⑨メモリーカードスロット	microSD/microSDHC/microSDXCカード兼用スロットです カードは先端の端子面が本機のうら側に向くようにして挿入します カードがスロットにロックされるまで爪先などで奥へ押し込んでください カードを取り外すときは、再度爪先などで押してロックを解除してから引き抜いてください
⑩電源スイッチ	本機の電源をON/OFFにするスイッチです
⑪音量ボタン	+を押すと音量が上がり、−を押すと音量が下がります

3.はじめて電源をONにする前に

3-1.ACアダプターの接続方法と内蔵バッテリーの充電方法

① 付属のACアダプターに、付属の電源ケーブル(形状:USBケーブル)を接続します。
② 本機の電源入力端子(DC-IN)に電源ケーブルを挿しこみます。
③ ACアダプターを電源コンセントに接続します。(本機の充電ランプが点灯します。)
④ 充電を終えたら②と③をそれぞれ取り外してください。



注意　発熱や故障、もしくは本機の性能低下の原因になりますので、本機への給電は、**必ず付属のACアダプターおよび電源ケーブルを使用して**、電源入力端子(DC-IN、兼microUSBポート)からおこなってください。電源ケーブルの延長はおこなわないでください。(上の図で指定する以外の接続はしないでください。)

本機に内蔵しているリチウムイオンポリマーバッテリーは、いつでも継ぎ足し充電をおこなうことができます。リチウムイオンバッテリーの特性などについては[☞ 別冊 使用上の注意・サポートガイド]で詳しく説明しています。

バッテリー残量がなくなると使用中でも電源がOFFになります。バッテリーの低残量を知らせるメッセージが出たら、使用しているアプリのデータをすぐに保存してください。

3-2.タッチパネルの操作方法について

タッチ操作名	タッチ方法		マウス時の操作名
タップ		画面の項目を軽く1回たたきます	クリック
ダブルタップ		画面の項目をすばやく2回連打します	ダブルクリック
長押し		画面の項目に、しばらく指を押しつけたままにします	右クリック
スライド		画面に触れたまま、指先を滑らせるように動かします	スクロール
スライド		項目を指先で押さえたまま、目的の位置まで動かします	ドラッグ
スライド		画面の外枠に指を触れたまま、画面の内側に向けすばやく動かします	―
スワイプ		画面の外枠に指を触れたまま、画面の内側に向けすばやく動かします	―
ストレッチ		2本の指で画面に触れたまま、指と指を広げます(画面の拡大)	―
ピンチ		2本の指で画面に触れたまま、指と指を近づけます(画面の縮小)	―

・タッチ操作しにくい作業の場合は、外付けキーボードやマウスをご利用ください。
・市販の一部タッチペンで本機の操作ができない場合がありますが、本機の故障ではありません。

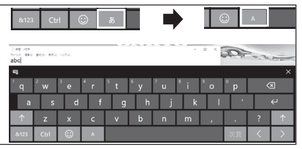
3-3.タッチキーボードの操作方法について

文字入力が必要な場所をタップすると、画面にタッチでタイピング(文字入力)ができるタッチキーボードが表示されます。

タッチキーボード
(本書では、以降キーボードといいます)

【ローマ字変換入力】
キーボードが表示されてすぐの状態は「ローマ字変換入力」です。画面の文字をタッチタイピングしていくと表示される、文字変換候補をタップすることで日本語変換しながら文字入力します。

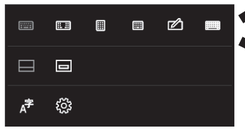
【アルファベットを直接入力】
キーボードの一番下の列にある あ をタップし、A に切り替えてからタイピングするとアルファベット文字が直接入力できます。
キーボードの両脇にある ↑ を長押しすると、大文字に切り替わり、もう一度タップすると小文字に戻ります。



【記号や数字の入力】
キーボードの一番下の列にある &123 をタップすると、記号と数字用のキーボードに切り替わります。

キーボードの一番下にある ◎ をタップすると絵文字用のキーボードに切り替わります

●左上にある ⌨ をタップすると、キーボード のスタイルや画面表示サイズなどが選べるウィンドウが表示されます。



キーボードタイプ例

おもに親指で文字を入力するスタイル

手書きで入力するスタイル

●キーボードを閉じるときはキーボード右上の × をタップします。

Windowsの初期設定完了後、キーボードは、文字入力が必要なときにディスプレイ右下のタスクトレイにあるキーボードボタンをタップして表示させます。

ディスプレイ右下のキーボードボタン

4.Windowsの初期設定(「セットアップ」ともいいます)

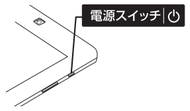
4-1.本機にACアダプター・電源ケーブルを接続する

Windowsの初期設定をおこなうときは、必ず本機にACアダプター・電源ケーブルを接続し、給電状態を維持してください。初期設定には概ね15分〜45分程度要しますが、その間は電源をOFFにしないでください。途中画面が何度か暗くなったり、画面表示の横⇔縦が切り替わる場合がありますが、故障ではありません。

4-2.本機の電源をONにする

本機の右側面にある電源スイッチを押します。

初めて電源をONにするとき、および前回「シャットダウン」で終了したとき	3秒以上長押しして指を離す
前回「スリープ」にしたとき	"カチッ"と短押し1回(または2回)



4-3.初期設定の開始

① 「こんにちは！コルタナと申します。」

初めて電源をONにすると自動的に右の画面が表示され、Windowsの、音声認識機能付きアシスタントソフトウェア「Cortana(コルタナ)」が、初期設定の音声付きガイドを開始します。

画面右下の黒枠内にあるスピーカーボタンをタップすると、音声ガイドの消音や音量調整をおこなうことができます。(初期設定は、音声ガイドを消音していてもおこなえます。)

少しすると、自動的に次の「地域と言語」の設定画面に切り替わります。

②「お住まいの地域はこちらでよろしいですか?」
⇒「日本」が選択されていることを確認のうえ、右下にある「はい」をタップします。

以降も、自動的に切り替わる表示画面の手順に沿ってすすんで行けば初期設定が完了します。ここからは、以降の表示画面について、ポイント事項を説明します。

③「キーボードレイアウトはこちらでよろしいですか?」
⇒ 適切に「Microsoft IME」が選択されていることを確認し、右下の「はい」をタップします。

④「2つ目のキーボードレイアウトを追加しますか?」
⇒ 日本語以外のキーボードレイアウトを設定しない場合は、右下の「スキップ」をタップします。

⑤「ネットワークに接続しましょう」　無線LANの設定です。周囲の電波状況が表示されます。

⇒ 無線LANの設定は後でおこないます。左下の「今はスキップ」をタップしてください。

(続いて「後で時間を節約するために今すぐ接続」も「いいえ」をタップします。)

⑥「ライセンス契約をお読みください」(画面をスライドして条文をお読みください。)
⇒ 右下の「同意」をタップします。

⑦「このPCを使うのはだれですか? 使用する名前を選んでください。」
⇒ 名前の入力欄をタップすると、画面下部にキーボードが表示されますので、任意のユーザー名を入力し、右下の「次へ」をタップしてください。

名前とは、本機の電源ボタンをONにしたとき、ログイン画面に毎回表示されるユーザー名のことです。

名前は1文字以上必要で、文字体制限はありません。漢字も使用できます。

(初期設定時に表示されるキーボード)

⑧「確実に覚えやすいパスワードを作成します」
⇒ パスワードの入力欄をタップすると、画面下部にキーボードが表示されますので、任意のパスワードを入力し、右下の「次へ」をタップしてください。
「パスワードの確認入力」には、同じパスワードを入力してください。

パスワードとは、本機の電源ボタンをONにしたとき、毎回入力することになるログインパスワードのことです。

パスワードは1文字以上必要で、アルファベット、数字、記号が使用できます。
複数の文字体を組み合わせ計8文字以上にして安全性を高めます。
生年月日や1234などの連続した文字列はさけてください。
(パスワードを何も入力しないことで手順をスキップし、後で設定することも可能です。)

パスワードは記録しておくとともに、思い出しやすいパスワードのヒントを記録しておきましょう。パスワードを忘れると本機にログインすることができなくなります。

⑨「Cortanaをパーソナルアシスタントとして指定しますか?」
⇒ 右下の、「拒否」または「同意」を選択してタップします。

⑩「アクティビティの履歴を利用してデバイス間でより多くのことをおこなう」
⇒ 右下の「はい」か「いいえ」を選択してタップします。

⑪「デバイスのプライバシー設定の選択」
⇒ 各設定のはい/いいえを選択してから、右下の「同意」をタップします。

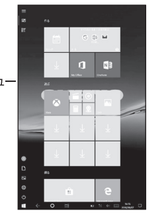
⑫「もう少しで完了します…」
初期設定の各種入力作業は完了です。
⇒ しばらくそのまま待ちます。

⑬「こんにちは」から始まるメッセージが画面に表示されます。
⇒ しばらくそのまま待ちます。

⑭「スタートメニュー画面」が表示されます。

Windows10の初期設定はこれで完了です。

スタートメニュー画面



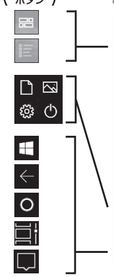
5.本機を使いはじめる

さあ、使いはじめましょう。ここからは本機の基本的な操作方法を説明します。
画面は縦向きでも横向きでもご使用いただけます。(スピーカーは横向き配置です。)
※紙面の構成上、説明用画像は縦向き画面/横向き画面が混在いたしますがご容赦願います。

5-1.「スタートメニュー」と基本操作方法

Windows 10のスタート画面設定には「デスクトップモード」と「タブレットモード」があり選択できますが、本機の出荷時状態は、タッチ主体の操作に最適化されたタブレットモードになっています。各種操作やアプリの利用は、それぞれのアイコンをタップすることでおこないます。

(基本操作ボタン)



スタートメニュー(タブレットモード)
よく使うアプリがタイル表示されます。

すべてのアプリを
一覧表示したところ

●基本操作ボタンの機能説明

アプリ一覧ボタン:タップすると、すべてのアプリが一覧表示されます。
[☞「エクスプローラー」、「コントロールパネル」]

タイル表示ボタン:タップすると、タイル表示の画面(スタートメニュー)に戻ります。

ドキュメントフォルダ(本機内の文書保存場所)へのショートカットボタンです。

ピクチャフォルダ(本機内の画像保存場所)へのショートカットボタンです。

「すべての設定」ボタン:各種設定変更をおこなう「Windowsの設定」に移ります。
[☞ 5-2.「アクションセンター」を開く]

「電源」のボタン:電源スイッチをOFFにする操作に進みます。
[☞ 電源をOFFにする方法]

Windowsボタン:タップすると、画面がスタートメニューに戻ります。

「戻る」ボタン:タップすると、いつもひとつ前の画面に戻ります。

「タイムライン」ボタン:
現在開いているウィンドウ(タスク)に加え、過去閲覧していたファイルやWebサイト、実行したアプリなどを呼び出し、簡単に操作の再開をおこなうことができます。

「タイムライン」画面

タップすると、文字入力または音声で検索ができる入力欄が表示されます。

「アクションセンター」画面を開きます。
[☞ 5-2「アクションセンター」を開く]

利用中のタスクを終了するときは、画面の上枠付近にタッチし、指を離さずに、下枠まで大きくスライドします。

画面右上に×が表示されているタスクは、×のタップでも終了できます。

●「エクスプローラー」、「コントロールパネル」
すべてのアプリの一覧に表示されているアプリには、描画やメモなどWindowsのアクセサリーアプリや、なじみのあるWindows管理ツール、Windowsシステムツールなども含まれていますので、あらかじめひととおり参照してみてください。
ここではアプリ利用方法の一例として、Windowsシステムツールの中に格納されている、「エクスプローラー」と「コントロールパネル」の表示手順について説明します。

<エクスプローラーを表示する>
ドライブやフォルダ、ファイル管理などをおこなう「エクスプローラー」は次の順でアプリアイコンにタップして画面表示させ、利用します。

Windows システム ツール ➡ エクスプローラー

エクスプローラーが表示されました

<コントロールパネルを表示する>
以前より使い慣れた方法で各種設定がおこなえる「コントロールパネル」は次の順でアプリアイコンにタップして画面表示させ、利用します。

Windows システム ツール ➡ コントロール パネル

コントロールパネルが表示されました

●良く使うアプリをスタートメニューにピン留めし、タイル化する方法
例として、前項の「エクスプローラー」と「カメラ」をスタートメニューにタイル化します。
①すべてのアプリを一覧表示します。
②「Windowsシステムツール」の中の「エクスプローラー」のアイコンを長押しします。
③右のポップアップウィンドウが表示されたら「スタートにピン留めする」をタップします。
④続いて、同じ手順でアプリ一覧の中の「カメラ」の、アイコンも「スタートにピン留めする」にします。
⑤画面をタイル表示に戻ります。

⇐スタートメニューに二つのタイルがピン留めされました。

タイル化させたアイコンは、タイルのサイズ変更(長押しして表示される ⋯ のタップで表示されるポップアップウィンドウから選択)や、スライドによる移動(長押しして、背景の色が変わったらスライド可能)がおこなえます。

●電源をOFFにする方法
① スタートメニュー画面左下にある「電源」のボタンをタップします。
②右のポップアップウィンドウが表示されたら電源をOFFにする方法を選んでタップします。
・**スリープ**: 再操作時に早く起動できます。
・**シャットダウン**: 標準の電源OFF方法です。
・**再起動**: シャットダウンして、すぐ再起動します。

(⇒ 裏面につづきます)

(⇒ 表面「電源をOFFにする方法」つづき)

本機側面の電源スイッチ[☞ 4-2 本機の電源をONにする]からも、本機の電源をOFFにすることができます。
・スリープ: 電源スイッチをカチッと短押しします。
・シャットダウン:
①電源スイッチを3秒以上長押しします。
②画面に右のメッセージが表示されたら、電源スイッチから指を離します。
③画面中央の▽に触れたまま画面下枠へスライドします。

※電源スイッチの長押しを10秒間以上続けることで「強制終了」することもできます。強制終了処理が開始されたら電源スイッチから指を離してください。

注意
強制終了による電源OFFは、データ破損など故障の原因になる場合があります。やむを得ない場合以外は、強制終了の操作となる「電源スイッチの10秒長押し」をおこなわないでください。
電源ONまたはOFFの操作中であっても、電源スイッチから指を離さず10秒間押し続けた場合は動作が「強制終了」に移行され、強制的に電源OFFになります。

5-2.「アクションセンター」を開く

⇐画面右下のタスクトレイにある左のボタン[☞ 5-1「スタートメニュー」を開く]をタップして「アクションセンター」を開きます。

タイル表示は折りたたんだり開いたりできます。

タイル
(トグル)

アクションセンターの枠の外をタップすると
アクションセンターの表示が消えます。

アクションセンターを説明します。

● 「すべての設定」タイルをタップ⇒
Windowsの各種設定やカスタマイズがおこなえる「Windowsの設定」画面が表示されます。
それぞれタップして内容を参照しておきましょう。

「Windowsの設定」画面

●使用頻度が多い設定がタイルのタップからおこなえます。
・「デスクトップモードとタブレットモードの切替」
・「画面回転のロック、ロック解除」
・「ワイヤレスディスプレイなどへの接続」
・「(外部ディスプレイへの)画面表示」
・「無線LANの接続」 ・「Bluetooth機器との接続」
・「画面の明るさ」 ・「(飛行機などの)機内モード」 ほか

5-3.設定をおこなう

ここでは設定作業例として、ご使用になる前のいくつかの重要な設定方法を説明します。

● **無線LANの設定方法** (本機でインターネットをおこなうために必要な設定です。)

これからインターネットをはじめる方は、あらかじめインターネットプロバイダーと契約し、インターネット回線を開通させたうえで、無線LAN親機(無線LANルーターなどとも呼ばれます)など、本機との接続に必要な機器をご用意ください。

本機は無線LAN受信機(子機)を内蔵しており、お選びいただける規格は以下です。

2.4GHz帯 無線LAN	5GHz帯 無線LAN
IEEE802.11b/g/n	IEEE802.11a/n/ac

無線LAN親機を利用するときは、その取扱説明書等を参照して以下をメモしておきましょう。

・ネットワーク名(SSID) 無線LAN親機などアクセスポイント固有の名前です

・ネットワークセキュリティーキー (セキュリティーキー、暗号化キー、WPA2キー、WEPキーなど)

①アクションセンターを開き、ネットワークのタイルをタップします。

②周囲の電波状況(アクセスポイント)がポップアップ画面に表示されます。

③表示されたアクセスポイントの中から、これからご利用になるネットワーク名(SSID)を選びタップし、「接続」をタップします。

④ネットワークセキュリティーキー[☞ 本項冒頭]の入力画面が表示されます。

⑤表示された入力欄をタップすると、画面下にキーボードが表示されます。ネットワークセキュリティキーを入力したら、「次へ」をタップします。

(ネットワークセキュリティキーの入力は、1アクセスポイントにつき初回のみです。)

⑥アクセスポイントの状況表記が「接続済み」になり、タスクトレイの無線LANボタンが点灯状態に変わります。

これで無線LANの設定は完了です。

タスクトレイの無線LANボタンを直接タップして、周囲の電波状況を表示させることもできます。

● **スリープ時の無線LAN通信をOFFにする方法**

スリープ状態の間は無線LAN通信(ネットワーク接続)が切断されるように設定変更しておくと、バッテリーの電力消費を節約することができます。お好みで選択してください。

アクションセンター ⇒「すべての設定」アイコンをタップ ⇒ Windowsの設定の中の「システム」をタップ⇒「電源とスリープ」をタップします。

「ネットワーク接続」の選択画面が表示されます。ここを「常時」に変更すると、スリープ中の無線LAN通信はOFFになります。

● **Bluetooth機器との接続(ペアリング)方法** (必要がある場合におこなってください)

アクションセンター ⇒「Bluetooth」タイルをタップ(点灯・オン)-点灯後長押し⇒「設定を開く」をタップ の手順で、「Bluetoothとその他デバイス」の管理画面に移動します。

①これから接続するBluetooth機器側にある、ペアリングスイッチを押します。
②管理画面の「＋ Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する」をタップします。
③「デバイスを追加する」のウィンドウから「Bluetooth」を選択しタップします
④画面表示された、接続するBluetooth機器名をタップします。
パスワード入力を求められたら接続するBluetooth機器側の説明書を参照のうえ入力してください。
(パスワード入力は1機器につき初回のみです。)

⑤接続が完了したら右のメッセージが表示されます。

[Bluetooth通信範囲:見通し距離約10m]

これでBluetooth機器の接続は完了です。

Bluetooth機能を使わないときは、バッテリーの電力消費の節約および他の通信機器との干渉を防ぐため、アクションセンターのBluetoothタイルをオフ(消灯)にしておきましょう。

● **タブレットモード ⇔ デスクトップモードの切り替え方法**

アクションセンターを開き「タブレットモード」タイルをタップしてオフ(消灯)にすると、画面の表示形式がデスクトップモードに切り替わります。お好みで選択してください。

● **アイコンや文字の表示サイズを変更する方法** (125%拡大表示 ⇒100%表示)

アクションセンター ⇒「すべての設定」⇒ Windowsの設定-「システム」⇒「ディスプレイ」の「拡大縮小のレイアウト」の下に表示される「テキスト、アプリ、その他の項目サイズを変更する」から、出荷時設定の125%拡大表示を100%表示に変更できます。

5-4.次回電源をONにするときは

(次回電源をONにする方法は、[☞ 4-2.本機の電源をONにする]を参照してください。)
次回から電源スイッチをONにすると、右のロック画面が表示されます。右の方法でロック画面を解除し、次に表示されるログイン画面にパスワードを入力(サインイン)してください。

5-5.ほか、あらかじめ知っておきたいこと

● **インターネットの閲覧をおこなう方法**
便利な編集ツールを採用したWindowsの新ブラウザ「Edge」が使用できます。

「タイル」アイコン

アプリ一覧 ⇒「Windowsアクセサリ」フォルダの中に格納されている以前のブラウザも使用できます。

● **ほかの機能説明や手順について**
ほかの機能説明や手順についてはWindowsの説明アプリ「ヒント」をご参照ください。(⇒ すべてのアプリ一覧)

インターネットに接続していない場合、「ヒント」の完全閲覧などWindows10の一部の機能がご利用いただけなくなりますので、インターネット環境の準備をおすすめします。

● 「Microsoftアカウント」について

「Cortana(コルタナ)」「OneDrive(ワンドライブ)」「OneNote(ワンノート)」「ストア」など、すべてのMicrosoftのサービスをご利用になる場合「Microsoftアカウント」の入力や新規取得(無料)が必要です。Microsoftアカウントとは末尾に@outlook.jp、@outlook.com、@live.jpなどがついたMicrosoftのメールアドレス形式のIDとそのパスワードの組み合わせのことです。まだお持ちでない場合はいつでも以下から新規取得ができます。
アクションセンター ⇒「すべての設定」⇒「アカウント」⇒「メールとアカウント」⇒「アカウントの追加」⇒「Outlook.com」⇒「作成しましょう!」

6.データのバックアップと初期化について

初期化とは、Windowsのシステムが手作業で修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などやむを得ないときに、本機の復旧を目的として本機内の記憶媒体を消去し、工場出荷時状態に戻すことです。

バックアップとは、外部記憶媒体へのデータ複製のことです。初期化をおこなうと、本機内の記憶媒体のデータはすべて工場出荷時状態に戻り、消えたデータが復旧できなくなります。日頃からこまめにバックアップをおこなうとともに、大切なデータはお客様が初期化を実施する前(または修理に出す前)にバックアップをお取りください。

6-1.データをバックアップ(複製)する

①スタートメニューまたはアクションセンター内にある「⚙すべての設定」をタップしてWindowsの設定を開きます。
⇒「更新とセキュリティ」をタップします

②Windows Update画面が表示されたら「バックアップ」をタップします。
右のファイル履歴を使用してバックアップ画面が表示されたら
⇒ 本機に「別のドライブ」を接続(または挿入)し、その後に、「ドライブの追加」をタップします。

別のドライブとは、USBメモリー、SDカード、外付けHDD/SSDをはじめとする外部の記憶媒体(外部ストレージ)のことです。容量に合ったものをご用意ください。

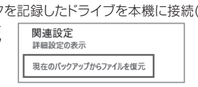
③画面に「ドライブを選んでください」とメッセージが出たら
⇒ 表示されたドライブ名をタップ(選択)します。
「ファイルのバックアップを自動的に実行」がオンになったら
⇒「その他のオプション」をタップします。

④バックアップオプション - 概要 ページが表示されたら
⇒「今すぐバックアップ」をタップします。

バックアップが始まります。バックアップが終わり、最新のバックアップ日時が表示されたら、データのバックアップは完了です。

バックアップが終わったら「別のドライブ」を取り外してください。

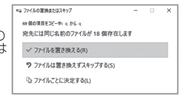
★バックアップしたデータを復元する(初期化後におこなってください。)
初期化後、再度初期設定が終わったら、データを記録したドライブを本機に接続(挿入)し、④の「バックアップオプション - 概要」ページを下にスライド(スクロール)し、「現在のバックアップからファイルを復元」をタップします。



ファイル履歴が表示されたら をタップして進み、ファイルの置換方法を選択します。

「ファイル履歴」

「ファイルの置換またはスキップ」



6-2.本機の初期化(「リカバリ」ともいいます)を実行する

①本機にACアダプター・電源ケーブルを接続します。

注意
初期化が終わるまで、ACアダプター・電源ケーブルを取り外さないでください。初期化は最大数時間かかる場合がありますが中断はできません。Windowsのデータが破損する場合がありますので、決して電源をOFFにしないでください。途中画面表示が一時的に横⇔縦に切り替わる場合がありますが故障ではありません。

②アクションセンターを開き、「⚙すべての設定」をタップします。
Windowsの設定画面が表示されたら、
⇒「更新とセキュリティ」⇒「回復」の順にタップします。
このPCを初期状態に戻すの下にある「開始する」をタップします。

③初期化のオプションをタップ(選択)します。
■個人用ファイルを保持する
アプリと設定は削除されますが、個人用ファイルは保持される初期化方法です。
■すべて削除する
個人用ファイル、アプリ、設定がすべて削除され工場出荷時状態に戻ります。
(続いて**すべて削除する**場合を説明します。)

④初期化のレベルをタップ(選択)します。
■ファイルの削除のみ行う
不具合などの復旧目的にはこちらが推奨されています。比較的短時間で終わります。
■ファイルを削除してドライブのクリーニングを実行する。
PCをリサイクルする場合などに推奨されています。(数時間かかる場合もあります。)

⑤「リセット」をタップします。
初期化が開始されます。

何度か画面が切り替わりながら初期化が実行されていきます。途中「オプションの選択」が画面表示されたら「続行」をタップしてWindows10の初期設定(セットアップ)画面が表示されるまでそのまま待ち、続いて初期設定をおこなってください。

7.BIOSについて

スタートメニュー→「すべてのアプリ」→アプリ名の一覧表示にある「ONKYOサポート情報」の中にある「BIOSセットアップマニュアル」のアイコンからご参照ください。

8.本機の仕様について

■**製品仕様書などについて**
製品仕様書およびその他の情報は次のWEBサイトからご参照ください。

http://pc-support.jp.onkyo.com/pds/spec_search.aspx

■**有寿命部品、消耗品について**

有寿命部品	ACアダプター、記憶媒体(e-MMC)、液晶パネル、タッチパネル
消耗品	バッテリーパック、電源ケーブル、USBプラグ変換ケーブル

本機には有寿命部品や消耗品が含まれています。有寿命部品の交換時期はご使用になる頻度や条件により異なります。消耗品は性能・機能維持のため適時交換が必要です。有寿命部品や消耗品の部品交換は、保証期間内・外にかかわらず有料です。

■**バッテリーサイクルについて**

[800サイクル] 経過時点の満充電時の駆動時間は、初期性能の[80%]以上です

内蔵バッテリーパックは消耗品です。バッテリーはご使用により徐々に劣化していきます(サイクル劣化)。満充電時の駆動時間が初期性能のおよそ50%付近まで低下した場合、バッテリーは寿命を迎えていますので、オンキヨーPCカスタマーセンターへ交換を依頼してください。[☞ 別冊 使用上の注意・サポートガイド]もお読みください。

■**補修用性能部品の保有期間について**

補修用性能部品の保有期間	製造打ち切り後2年間

補修用性能部品の保有期間をもって、製品の修理対応は終了となります。(補修用性能部品とは、製品の機能・性能を維持するために必要な部品で、すべての部品ではありません。)

■**無線LANおよびBluetoothワイヤレステクノロジーについて**

2.4GHz帯無線LAN / Bluetoothワイヤレステクノロジー
この機器の使用周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を有する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
①この機器を使用する前に近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
②万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
③その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合は、下記連絡先にお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4 〈2.4GHz帯無線LAN〉この機器が、2.4GHz周波数帯を使用するDSSS変調方式/OFDM変調方式の無線装置で、与干渉距離が40mであることを示しています。
＊使用できるチャンネル(ch)は、1ch～13chです。

2.4 FH 4 〈Bluetoothワイヤレステクノロジー〉この機器が、2.4GHz周波数帯を使用するFHSS変調方式の無線装置で、与干渉距離が40mであることを示しています。
＊送信出力はPower Class2で通信範囲は見通し距離約10mです。

5GHz帯無線LAN (ご利用になる場合は対応する無線LAN親機をご用意ください。)
この機器は5GHz帯無線LANを内蔵しており、使用できるチャンネル(ch)は以下です。

IEEE802.11a/n/ac
J52 | W52 | W53 | W56
W52:36ch、40ch、44ch、48ch
W53:52ch、56ch、60ch、64ch
W56:100ch、104ch、108ch、112ch、116ch、120ch、124ch、128ch、132ch、136ch、140ch

※W52とW53は、電波法によりご利用が屋内に限定されています。

注意
無線LANはネットワークセキュリティーキーを利用するなどのセキュリティー設定をおこなったうえで使用してください。セキュリティー設定をしていない場合、第三者に通信内容を盗み見られたり、不正にネットワークへ侵入されたりするおそれがあります。

■**瞬時電圧低下について**

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満たしております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。なお、内蔵バッテリーの充電残量が不充分な場合は本規格の耐力を満たさないのでご注意ください。

■**高調波電流規制について**

この装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2適合品です。

■**電波障害自主規制について**

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

©Copyright 2019 Onkyo Digital Solutions Corporation. All rights reserved.

・製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
・本書を含む各種マニュアルの内容は、予告なく変更する場合があります。
・本書で使用している画像等はそれぞれの表示イメージです。製品と異なる場合があります。
・本書を含む各種マニュアルの内容について、万が一ご不審な点や誤り等がありましたら、オンキヨーPCカスタマーセンターへご連絡ください。なお、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、各種マニュアルの記載内容にかかわらず当社はその責を負いません。
・本製品に内蔵のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用許諾されます。
・他社製周辺機器およびソフトウェアについては動作を保証するものではありませんので、各販売元にお確かめのうえご購入ください。
・本製品に記録した著作物は、個人で楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
・本書を含む各種マニュアルの無断転載を禁じます。
・商標について: Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside ロゴ、Atom、Atomロゴ は、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporationの商標です。Microsoft、Windows及びWindowsロゴはマイクロソフト企業グループの商標です。microSD、microSDHC、microSDXCは、SD Card Associationの商標または登録商標です。Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc. USAの商標または登録商標です。その他記載されている会社名、製品名、規格名は各社の商標もしくは登録商標です。本書は®マーク、TMマークを省略しています。

DC1200-01D 2019年5月 四版

オンキヨーデジタルソリューションズ株式会社
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5 京王神田須田町ビル
お問い合わせ先:**オンキヨーPCカスタマーセンター**
電話サポート窓口 ナビダイヤル **0570-001134**
サポートホームページ **http://pc-support.jp.onkyo.com/**